

「いつでも どこでも 誰とでも」を合言葉に!

彩の国ペタンク通信



2022.11.09

発行所 埼玉県ペタンク・ブール連盟

企画・編集 広報部

連絡先 048-572-1885 (森)

メー ル petamori1885@gmail.com



No.79

第4回埼玉県ペタンクシングルス選手権大会

7月31日(日)深谷市川本おまつりの広場で第4回埼玉県ペタンクシングルス選手権大会が開催された。

大会当日の深谷市は37度の猛暑日となり、参加した選手の皆さんはコロナ対策、暑さ対策を万全にして試合に臨んでいた。

埼玉県からは25名が参加、県外からも20名が参加、遠いところでは高知県1名、宮城県1名の選手が参加していた。

競技方法は、男女混合の6人1ブロックによる総当たりで、1試合の制限時間は30分、プラス2メーヌの予選リーグを行ない、各ブロック上位3位までが決勝トーナメントに進出した。



決勝戦は第1回大会女子の部優勝の今泉選手対男子の部3位の中村選手が体調不良で棄権をし、男女混合シングルス戦の優勝は中村選手となった。

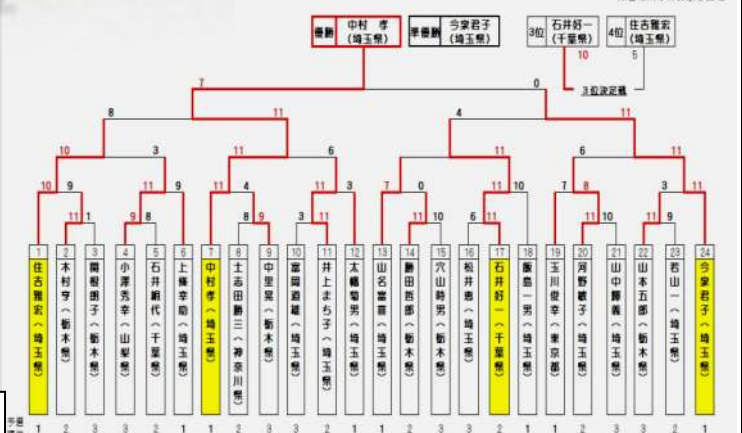


井上会長

3位:石井好一 2位:今泉君子 1位:中村孝 4位:住吉雅宏

第4回埼玉県ペタンクシングルス選手権大会

令和4年7月31日(日) 深谷市川本のお祭り広場



第三十七回日本ペタノク選手権大会

令和4年10月15日、16日富山県富山市の五福公園において、第37回日本ペタノク選手権大会が開催され、埼玉県からは前回優勝の男子1チーム、女子1チームと県予選を勝ち抜いた男子5、女子5チーム、ジュニア4チームが参加した。



※参加選手KSさんは次のように話してくれた。
大会の雰囲気は、今までに参加した中では、関係者以外は参加出来ないため盛り上がりには欠けたよう感じた。
試合毎のテランの差が激しく、テランを読み切れるかが勝敗をわけたと思う。私が感じたことは、ポアンテは最低2通りの投げ方を持って無いと上には上がれない。試合は寄せが試合を作ると強く感じた。

第37回日本ペタノク選手権大会成績

チーム名	選手名	成績	最終結果
埼玉県女子A	高野環、今井富美子、大久保まち子	予選：2勝1負2位	決勝T 1回戦敗退
埼玉県女子B	井上まち子、今泉君子、大澤廣美	予選：3勝0負1位	決勝T 準々決勝敗退 5位
埼玉県女子C	佐々木久子、河野敏子、石川ひろ子	予選：2勝1負2位	決勝T 1回戦敗退
埼玉県女子D	高橋よし子、中村敦子、泉恵美子	予選：2勝1負2位	決勝T 2回戦敗退 9位
埼玉県女子E	興津里子、柴田つね、吉田茂子	予選：0勝3負4位	予選敗退
埼玉県女子F	浅見マサ、清水葉子、坂本富美子	予選：2勝1負1位	決勝T 1回戦敗退
埼玉県男子A	内田均、浅見恒夫、太幡菊男	予選：1勝2負3位	予選敗退
埼玉県男子B	加藤英男、加藤賢治、藤沢昭次	予選：3勝0負1位	決勝T 1回戦敗退
埼玉県男子C	森輝雄、塩田邦彦、佐東慎吾	予選：2勝1負1位	決勝T 1回戦敗退
埼玉県男子D	中村孝、宮城修一、泉忠明	予選：2勝1負2位	決勝T 1回戦敗退
埼玉県男子E	石川太津男、並木義彦、長利光	予選：1勝2負3位	予選敗退
埼玉県男子F	山中輝義、新井喜一、坂上岩夫	予選：1勝2負3位	予選敗退
埼玉県ジュニアA	倉林龍成、石渡柚望	予選：2勝2負3位	予選敗退
埼玉県ジュニアB	新田敦之、石渡壬尋	予選：2勝3負4位	予選敗退
埼玉県ジュニアC	高野未来、坂本晴	予選：1勝4負6位	予選敗退
埼玉県ジュニアD	宮下京佳、倉林すみれ	予選：0勝4負5位	予選敗退



来年度の日本選手権は令和5年11月18日、19日沖縄県糸満市真栄里屋外運動場で開催されます

第十五回黒田オーブンペタンク大会

令和4年9月4日(日)深谷市小前田の花園農業者トレーニングセンター(花園総合運動公園)で、第15回黒田オーブンペタンク大会が開催され30チームが参加、6チーム1ブロック総当たり戦を行った。閉会式では、一位、二位を表彰、三位以下の全チームが賞品をいただくことができ楽しい一日を過ごすことができた。



■各ブロック優勝チーム■

Aブロック

一位 江南サンデーズ

森信介、宮城修一、中村孝

二位 上尾MSK

水野修、川原塚公一、勝呂利奈

Bブロック

一位 秩父諏訪B

山中輝義、入野肇子、内田光男

二位 上尾SHI

白井和博、広橋慈子、岩屋ひとみ

Cブロック

一位 諏訪A

浅見正、森恵美子、太幡菊男

二位 さくら

林亮二、野田錠一、斉藤和子

Dブロック

一位 深谷B

田崎和雄、松上哲朗、高田忠雄

二位 陽野GG

大久保進、長谷川辰巳、新井喜一

Eブロック

一位 ハナイチ

田中敏夫、石川幸子、酒井剛

二位 優・T・O

高野環、大久保まち子、今井富美子

第三十三回水郷みさとオープンペタンク大会

令和4年10月23日(日)三郷市三郷公園多目的広場に於いて、31チームが参加して開催され、開会式では、岩瀬和夫副会長より開会宣言、主催者顧問の鈴木義弘衆議院議員の激励の挨拶を頂き、続いて河部会長より挨拶と競技説明があり、制限時間45分での白熱した試合が開始された。



優勝 タイ・ラオス
荒井隆秀 クパンペットソムポン
コータウンプリーチャ

準優勝 KFK
加藤英男 藤沢昭次 加藤賢治

3位 AOYAMA PETAQUE 1
Adrian_Buehler 郷間直樹 高島宣正

第22回 東日本パタック大会が熊谷市で開催された

山梨県チーム優勝 北海道チーム準優勝

7月23日、24日に熊谷市スポーツ文化公園に於いて、第22回東日本パタック大会が開催され東日本各地から54チームが参加した。

この大会は5人1組のチーム戦であり、ダブルス戦とトリプルス戦を同時に行い、1勝1敗の場合はチーム5人が1球ずつ投球し、1メーヌを行ない、得点を得たチームが勝ちとなる。しかも、毎試合ごとにメンバーを組み換えなければならず、対戦相手のメンバーを予想してのメンバー編成が面白い大会である。



開会式では日本パタックボール連盟河原副会長、小林熊谷市長、鈴木衆議院議員、杉田埼玉県議会議員、福田熊谷市議会議長等の挨拶をいただきました。



大会は23日に予選リーグ5試合が行われ各ブロック上位3チームが決勝トーナメントに進出、決勝1回戦の11試合が行われ、ベスト16が決定し、24日の2回戦に進んだ。

決勝戦では、熊谷の暑さにも負けず接戦を勝ち抜いた北海道チームと山梨チームの対戦となり、山梨チームがトリプルス、ダブルスで2勝

して初優勝を果たした。
「今回の様なまぐれもまぐれ、上手な皆さんが暑さで力が出ない状況下、本当にラッキーでした。」と山梨チームをまとめていた千野選手が話してくれた。
埼玉県勢も頑張り、坂戸パタック連盟の2チームが3位と5位に入賞、9位には飯能市パタック協会、秩父市パタック連盟の皆さんがそれぞれ入賞された。



準優勝:北海道
熊谷正人、北林正行、熊谷雅代、村上幸江、村上英樹



★優勝:山梨県B
渡邊修久、神宮寺聡、千野恒夫、深澤花織、降矢賢之



5位:埼玉県J
並木義彦、石川太津男、石川ひろ子、泉恵美子、泉忠明



3位:埼玉県H
長利光、綾部栄子、佐藤眞悟、山名富喜、塩田邦彦